学校番号	315

令和８年度　公民科

教科	公民	科目	倫理	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	高等学校「倫理」（第一学習社）						
副教材等	『倫理ノート　学習事項の整理と問題』（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・あらゆるものごとについて存在する意味が何かを考える習慣を持つ。
・自分の身近なできごとについて、多くの思想家の主張をふまえて考える。
・自分の生き方について、先人の考え方を参考に、あらためて問いなおす。

2　学習の到達目標

人間としての在り方生き方についての見方・考え方を働かせ，現代の諸課題を追究したり解決に向けて構想したりする活動を通して，広い視野に立ち，人間尊重の精神と生命に対する畏敬の念に基づいて，国際社会に主体的に生きる平和で民主的な国家及び社会の有為な形成者に必要な公民としての資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

・古今東西の幅広い知的蓄積を通して，現代の諸課題を捉え，より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身に付けるようにする。

・自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や，現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して，論理的に思考し，思索を深め，説明したり対話したりする力を養う。

・人間としての在り方生き方に関わる事象や課題について主体的に追究したり，他者と共によりよく生きる自己を形成しようとしたりする態度を養うとともに，多面的・多角的な考察やより深い思索を通して涵養される，現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚を深める。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	古今東西の幅広い知的蓄積を通して，現代の諸課題を捉え，より深く思索するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに，諸資料から，人間としての在り方生き方に関わる情報を調べまとめる技能を身につけている。	自立した人間として他者と共によりよく生きる自己の生き方についてより深く思索する力や，現代の倫理的諸課題を解決するために倫理に関する概念や理論などを活用して，論理的に思考し，思索を深め，説明したり対話したりしている。	人間としての在り方生き方に関わる事象や課題に関連して，学習上の課題を意欲的に追究しようとしたり，他者と共によりよく生きる自己の形成に向けて，多面的・多角的に考察しようとしたりしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	人間の心と自己形成・人間の存在や価値と宗教	第１章　人間の心と自己形成 １．青年期の課題と自己形成 第２章　人間の存在や価値と宗教 １．ギリシアの思想	a：青年期の特性と課題、ギリシア思想について基本的な考え方を理解している。 b：様々な人間の心のあり方や先哲の思想を踏まえて，人間とは何かを思索し，他者と共によりよく生きる自己の生き方について考察し、判断している。理解したことを適切な言葉で表現している。 c：様々な人間の心のあり方について，統計的な分析結果を読み取ったり，対話や作文などを通して学習を深めたりしている。また、先哲の思想を踏まえ、人生への問いや人間の存在や価値について，自己の課題と結び付けて主体的に思索している。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	 ワークシート 振り返りシート
	人間の存在や価値と宗教	第２章　人間の存在や価値と宗教 ２．ユダヤ教とキリスト教 ３．イスラーム ４．仏教 ５．中国の思想 ６．宗教や芸術	a：世界の主な宗教や古代中国の思想について基本的な考え方を理解するとともに、人生における宗教や芸術のもつ意義について理解している。 b：世界の主な宗教や古代中国の思想についてその根本的な考え方を生活習慣と結びつけて理解したうえで、現代における宗教の意義を考察し、判断している。理解したことを適切な言葉で表現している。 c：世界の主な宗教や古代中国の思想家が人間をどのように捉えているか，どのように生きることを目指しているかについて，多様な倫理に関する諸概念を踏まえながら自己の課題と結び付けて主体的に思索している。	定期考査	定期考査 ワークシート プレゼンテーション	 ワークシート 振り返りシート

2学期	人間のあり方と社会	第３章　人間のあり方と社会 １．人間の尊厳 ２．科学革命の時代と自然観 ３．自由で平等な社会の実現 ４．人間性の回復と主体性の確立	a: 現代文明の元となる西洋近代思想の基本的な考え方について、世界史や日本史と関連づけて理解している。 b: 現代文明の元となる西洋近代思想について世界史や日本史と関連づけて理解したうえで、人間のあり方や、人間と社会との関係性について考察し、判断している。理解したことを適切な言葉で表現している。 c:現代文明の元となる西洋近代思想から、人間のあり方や、人間と社会との関係性を理解し，自分自身の生き方につなげて主体的に思索している。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート 振り返りシート
	現代の人間と社会をとらえる思想・国際社会に生きる日本人としての自覚	第４章　現代の人間と社会をとらえる思想 １．現代の思想と人間像 ２．生命への畏敬と社会参加 第５章　国際社会に生きる日本人としての自覚 １．日本固有の思想 ２．外来思想の受容 ３．町人思想のめざめと庶民思想 ４．西洋思想との出会い	a:現代思想の基本的な考え方について理解している。また、日本人のものの考え方や生活習慣の根本はどこから来たのか、世界史や日本史と関連づけて理解している。 b:日本人のものの考え方や生活習慣を理解したうえで、私たちの生き方はどのようなものであればよいのか考察し、判断している。理解したことを適切な言葉で表現している。 c: 現代の様々な思想家の主張や、日本人のものの考え方や生活習慣をもとに，国際社会に生きる日本人としての人間観，自然観，宗教観などの特質について，主体的に思索している。	定期考査	定期考査 ワークシート レポート	ワークシート 振り返りシート

3学期	自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理・社会と文化にかかわる諸課題と倫理	第１章　自然や科学技術にかかわる諸課題と倫理 １．生命の問題と倫理課題 ２．地球環境の問題と倫理的課題 ３．科学技術の進展と倫理的課題 第２章　社会と文化にかかわる諸課題と倫理 １．福祉の向上と倫理的課題 ２．文化と宗教の影響と倫理的課題 ３．国際平和と倫理的課題	a:自然や科学技術、および社会や文化にかかわる諸課題において、これまで学んだ内容や課題を解決するための基本的な知識を理解している。 b: 自然や科学技術、および社会や文化にかかわる諸課題を踏まえたうえで、人間生活と社会のあり方について探究し、判断している。理解したことを適切な言葉で表現している。 c: 自然や科学技術、および社会や文化にかかわる諸課題についての具体的な事例を収集し、主体的に解決しようとしている	定期考査	定期考査 ワークシート プレゼンテーション	 ワークシート 振り返りシート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度